



式中だより

395号

令和3年(2021年)

3月19日(金)

発行 式根島学園 式根島中学校

04992(7)0017

「汗と鱗と潮風と」

校長

学校では今年度の反省を生かして次年度の計画づくりが整ったところです。この1年間を振り返ってみると、4月6日に入学式を済ませた翌日から臨時休業となり、生徒たちが楽しみにしていた行事も延期や中止せざるを得ませんでした。この見えない敵との戦いにおいて新型コロナウイルス感染症予防策で過ごした新しい生活様式にも慣れ、本日無事に卒業式を迎えられたことをうれしく思います。

さて、過日、島の方から一冊の本を預かりました。それは「汗と鱗と潮風と」～鳥羽の丸幸と水族館の物語り～という題名で鳥羽水族館を創立した初代館長であり、海鮮問屋「丸幸」の経営者の中村楠雄さんが自分の生涯を誌したものでした。以前から鳥羽と式根島の関係については話を聞いたことがありましたが、この本を読んで中村さんの決断と心意気に心を洗われました。それは、昭和32年頃の話ですが、当時式根島ではカッチャクリ漁(追い込み網)で大量のニザダイ(カレキン・サンノジ)が獲れたようですが、臭みが有り食用にはあまり向いていなかったようで、築地に売り込んでも突き返されていたそうです。当時の新島郵便局長が中村さんに掛け合い、買い付けをしてもらえるようになりました。ニザダイの臭みを消す調理方法が研究され、名古屋を初め大阪や京都でも重宝させるようになり、市場価格が上がり他の業者も我先にと式根島へニザダイを買い付けに来たようです。当時の式根島の網元が買い付けに来た業者にこう言ったそうです。「売れない時分から丸幸に買ってもらった義理がある。10円の魚を1,000円といわれても、義理があるから売るわけにはいかない。」売れない魚が人と人を結びつけてくれた話がここにありました。

本校では、本日自分の進むべき道を見極め、受験を乗り越え、式根島で学び育った9年生3名が卒業しました。これから出会う人たちとの結びつきを大切に、活躍してほしいと願っています。そして、7・8年生は次のステージが目の前にあります。8年生・9年生として、その学年に相応しい準備をしてくれることを願っています。

よりよい式根島学園に向けて

式根島の風



保護者・地域の皆様にはこの1年間、本学園の教育活動に対して御理解・御支援をありがとうございました。今年度も小中合同研修では、小中一貫教育校の特色を生かした授業づくりを中心に研修を進めました。今後もチーム「式根島」として子供たちがのびのびと過ごせる学園を目指していきます。今後とも御理解・御支援をよろしくお願いいたします。

4月の予定

生活目標：気持ちよいあいさつをしよう、早寝・早起き・朝ご飯
保健目標：自分の体の様子を知ろう
給食目標：協力して楽しい給食にしよう

『式中だより』は、毎月25日をめどに発行していきます。

6	火	始業式 入学式	14	水	生徒会朝礼
7	水	オリエンテーション(身体計測)	15	木	三者面談
8	木	式根島学園テスト	26	月	オリパラ朝礼
9	金	生徒会歓迎会	28	水	保護者会・PTA総会

令和2年度の教育活動を振り返って

教務主任

今年度は、始業式、入学式後に緊急事態宣言が発令され新入生は中学校に慣れる期間もなく臨時休校になりました。2ヶ月間の家庭学習では、課題やリモートを活用した教育活動となりました。生徒は、課題に対して前向きに取り組んでくれました。そのため6月の休校が明け後も、スムーズに学校生活を送ることができました。休校明けも感染拡大予防のため日常的に手指消毒、マスクの着用、換気や教育活動中に距離を取るなどの対応をしています。修学旅行、キャリア教室の宿泊学習も実施を前提に事前学習に取り組みましたが残念ながら中止となりました。また、運動会、文化祭も内容を変更して実施しました。例年にはない教育活動となり生徒たちには、我慢を強いられました。授業に臨む姿勢や授業以外の取組に対しても非常に前向きに取り組んでくれました。その中でも、行事が縮小され授業の変更が少なく生徒は、落ち着いて学習に取り組めたこと、ICT 機器も活用の頻度が多くなったことなど通常の教育活動では、気づかない発見もありました。来年度も感染拡大防止対策が続くことになるとは思いますが今年度の成果を生かして教育活動を行っていきたいと考えています。

✿✿✿ 1年間を振り返って ～各学年より～ ✿✿✿

《7年担任》

4月6日の入学式から早一年が経とうとしています。1学期に通えた日数は、約二ヶ月。ようやく慣れ始めた頃に夏休みになり、7年生とその保護者の皆様は、本当に苦労されたと思います。

しかし、3学期も終わりを迎え、まもなく8年生になろうという姿を見ると、あらゆる面で成長を感じます。4月からのより一層の成長が楽しみでなりません。保護者の皆様、今年度も学年へのご協力ありがとうございました。来年度も教員一丸となり、成長を見守ってまいりますので、よろしく願いいたします。

《8年担任》

担任をさせていただき、ありがとうございました。十人十色ならぬ四人四色。自分だけの色を見つけ、その色に磨きをかけている真っ最中の四人。これからもたくさんのチャレンジをして、自分だけの色をどんどんと深めていってください。そして、自分だけの色も、他者の色も、それぞれを綺麗だと思える人であってください。ともに過ごした日々を糧に、それぞれの場所でのさらなる活躍を願っています。幸せになってください。ずっと応援しています。

《9年担任》

初めてのことだらけの1年間でしたが、目標をもち、今自分に出来ることを考えて、精一杯努力する3人の姿が印象的な毎日でした。自立に向けて着実に成長していく姿から、中学校卒業後がとても楽しみに感じています。保護者の皆様、今年度も温かく9学年の取組を見守り、ご協力いただきありがとうございました。9年生のみなさん、新天地でも、自分らしく輝き続けてください。応援しています。

波ようねりよ

数学科

2020年度、後悔していることがあります。それは新型コロナウイルスの影響で前任校の生徒や保護者の方々、地域の方々と別れをきちんとできずにいることです。春は別れの季節でもあり、新たなスタートを迎える季節でもあります。しっかりと区切りをつけることが新たなスタートにつながることを強く感じました。この3月で式根島中学校を巣立ち、新たなスタートを迎える3人には、しっかりと区切りをつけて式根島で過ごした日々を胸に頑張りたいと思います。

※カラー版の式中だよりはホームページでご覧ください。